

2014年 4月23日発行

鵬 際

HOSAI

「鵬際」鵬は翼の幅3,000里、一飛びで90,000里という伝説上の中国の鳥。そこで鵬（おおとり）が飛ぶ（＝はるかなかなたの）空のことを言う。「際限のない」という意味でも使われる。私たち経済開発同友会の目指す活力ある八代づくりも、言わば際限のない努力を必要としますが毎年この機関誌を出す事によって一步一步目標に近付きたいものです。その願いを込めて誌名を「鵬際」と名付けました。尚、題字は本島小夜子先生にお願い致しました。

八代経済開発同友会

(通巻第115号)

<http://www.goroyoka-yatsushiro.com>
E-mail:jimukyoku@goroyoka-yatsushiro.com



50年目とは

平成25年度 八代経済開発同友会

第50代 代表幹事 神園 喜八郎

理念をテーマに取組んだステージが終焉を迎えます。創立50周年準備室から始まり、実行委員会、委員会と携わってきていただいた会員の皆様に心より感謝申し上げます。

この間、理念というテーマに多くの時間を費やし、議論し答えを模索しました。それは、霧の中で行き先を見極めようとするようにもどかしく、回りくどい道のりでありましたが、得ることの多い時間でもありました。理念の必要性、理念のもたらすもの、理念を持つことの意味等、尽くせない議論の中に見えたものは、誰のために、何のために、何をすべきなのかという存在意義、求められる価値観であったと思います。

この間、私から皆さんに伝えたメッセージ(寄稿文等)が費やした貴重な時間を検証くれると思います。

まず準備室の段階では、

「今回の室会議で、組織が存在する根本である理念の不明確さが会の抱える問題点の大きな要因であり、それに伴う不安や危機感を多くの室メンバーが感じている事が分かりました。何の為に、誰の為にこうあるべきだという根本的な指針を明確であれば、それを基に、組織が思考し、動き、活性化が図られ、理解者(仲間)が増えるのではないのでしょうか。そして結果として役に立てる組織として活動ができるのだと思います。」

というメッセージを伝えました。そして、石を投げ込んだ池のように波紋が広がったことを感じた時、この会に理念は存在すると確信できました。

次に全会員に向けて

「同友会が、何の為に、誰のために、何をすべき団体なのか」を明確に『理念』として宣言

する事により、まず会員に問いかける言葉として、又社会に会の責任と役割を伝える言葉として、そして志を持った者の集まりであることを根底から支える言葉として、会の中に生命体のごとく宿るものであると信じます。

『理念の下に集う者が、地域の為に奉仕を行い、発展を願う。』八代経済開発同友会が50年目からさらにその役割を果たすべく、50年目への準備を行ってまいります。会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。」

と言うメッセージを伝え、50年目からの会の起点として、理念が必要であることへの理解を求めました。

そして、準備室からの最終提案、経過報告として

「理念(案)」八代経済開発同友会は、奉仕の志を持つ者が、共に集い、学びあい、幸福感のある企業と、活力ある地域づくりに貢献する。

理念(案) 策定及び提案までのプロセス

本年度創立50周年準備室長として、室において50周年に向けての議論を始めた時、50周年の機会を活かし会の内外に、何かを伝えたい、表現したいという室メンバーの想いが希薄であることに気付かされました。

誰が、誰のために、何のために、何を行う団体なのか、そして会の存在の意義は何かという問いに、明確な言葉が出ない現状であり、さらに入会している価値観を感じていない会員も少なくない状況でした。

それは何故なのか。

この事をまず課題として取上げ、この「もやもや」を晴らす事により50周年に向けての取り組みが始まると確信し、準備室の大きなテーマとして取上げました。

その後、昭和39年4月の「経済同友会設立趣意書」、「八代経済開発同友会会則」および、先輩達が創立40周年後に作成・提言された、「同友会ってどうゆう会」等の資料を基に議論を重ね、又室メンバーに対してのアンケート調査（設問は別紙参照）を行い導いた結論が、この会には「明確な理念が文書（言葉）として存在しない事が、立ち位置を確認できず、指針、方針、目的の継承ができない原因ではないか」という事でした。そこで室会議において「理念」の策定に取りかかり、会議、メール討論を重ね導き出したのがこの理念（案）です。

誰が、誰のために、何のために、何を行う団体なのかを、この理念（案）を基軸として考え、行動していければ、これまでの50年の活動を基盤としてさらに、集い、学びあい、役割を果たせる団体となることを確信し提案いたします。

準備室の思いをこめたこの提案は、多くの会員に理念の必要性を伝えることが出来ました。そして、理念を得たことで50年目の八代経済開発同友会は、「理念と覚悟と共に、新たなステージへ」のスローガンを掲げ、スタートラインに立つことができたのです。

もちろん理念を定めることが50年の総括であり、51年目からの全ての起点であるとは思いません。しかし新たな一步を踏み出すためにはどうしても必要な事であったと思っています。私の中では理念という概念を取り上げ、投げかけ、理解を得、会が、会員の皆さんが新たな感性で取組んでいただけるきっかけとしたかったのです。

そして、50年目を迎えるまでのこの段階が、私が50年目の代表として託された最も重要な役割であり、期間であったと思っています。

理念を得、動き出した組織は、理念を理解し、共有してくれた仲間達が、間違いのない方向性と、着地点を見据え、50周年目の多彩な事業を企画・運営し、力強いメッセージとして会の内外に伝えてくれました。これこそが理念を持つ組織のあるべき姿であると信じています。

最後に、私は所信の最後に「何を基軸に、何を考え、何を行ったのか、一年後皆さんと検証するのが楽しみです。」と締めくくっております。

した。一年後の今、どうだったでしょうか。皆様のお役に立ち、地域に貢献できる八代経済開発同友会であったならば幸いです。

ありがとうございました。全ての皆様に感謝申し上げます。

ネクストステージの幕開けです

50周年記念実行委員長 竹 永 淳 一

経済開発同友会の設立50周年記念事業が2月22日の記念講演会にて滞りなく終了する事ができました。神園代表幹事よりご指名を受けて拝命させて頂いた実行委員長でしたが、会員の皆様方のお陰でどうにかその任を終えることができそうです。

思い起こせば丁度一年前の理事会で「理念の浸透」を掲げてスタートを切りました。神園代表幹事とスクラムを組んで決してぶれない姿勢で気合いを入れて臨んだ4月のパネルディスカッション例会でした。あの時から記念講演会までの道筋が、今となっては一本の直線に見えるのは私だけではないと考えます。夢を描きキャンバスを埋めていく事は、このように後に振り返ると形のないものが少しずつハードルを越えながら形となって行くものだと思えます。

しかしながらその道程では、人の心を悩ませ、動けなくなるほど考えあぐね、明かりが見えない暗闇で助けを求めなくなる光景も幾度となく感じる時がありました。

そしてみなさんがたの「理念に基づいた行動と意思の強さ」によって、1月25日の式典と懇親会、「90人の侍」とDVD。そして50年の歴史をさかのぼりながらまとめてくれた「年表の作成」さらに、2月22日まで悶々と過ごさせてしまい最後のエピローグを飾ってくれた記念講演。どれをとっても「90人の侍」そのものであったと最高の賛辞を送りたいと心から思っています。

さあ、いよいよ君たちの時代です。九州いっばいとどろき渡る銅鑼の音と汽笛を合図に51年目のスタートを力強く踏みだそうではありませんか。もう迷う事はありません、この1年で

八代経済開発同友会理念

八代経済開発同友会は、
奉仕の志を持つ者が、
共に集い、学びあい、

幸福感のある企業と、活力ある地域づくりに貢献する。

勝ち得た君たちの勲章は、金メダルにも勝るとも劣らない光り輝く栄光の証です。

ネクストステージは、まさに君達一人ひとりの活躍を待っています。

最後になりますが、この1年間、辛く当たったり、強い口調で攻めたりと個々においてはご迷惑をお掛けしたと心からお詫びを申し上げ、実行委員長の最後の言葉とします。

この1年を振り返って

活力ある地域づくり委員会委員長 村田 進一郎

まずは、50周年という記念すべき年に活力ある地域づくり委員長、記念講演会担当の理念部会長という重要な役割を与えていただき大変感謝致します。2月の記念講演会は、多くの方々に参加いただき成功裏に開催する事が出来ました。これも、ひとえに会員の皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。ありがとうございました。

この1年を振り返ると、活力ある地域づくり委員会としての活動と記念講演会の担当部会である理念部会の2本の柱がありました。

活力ある地域づくり委員会としては、ご当地グルメ実行委員会への参加がありました。ご当地グルメ実行委員会は、八代のブランド浸透に寄与できる食の展開を図るべく設立された委員会です。構成は八代ブランド営業総室、熊本県八代振興局、まちなか活性化協議会、やつしろやっ隊、八代よかところ宣伝隊、熊本高専八代キャ

ンパスです。3か年計画で、八代に古くから伝わる民話「彦一のとんち話」をモチーフに、ご当地グルメの開発に取り組み、「八代ひこいちDON」を展開してきました。本年度はその3か年の最終年度でした。これまで、八代経済開発同友会も付加価値創造委員会として協力をしてきましたが、本年度も活力ある地域づくり委員会として参加しました。3年間の成果として、11店舗ものご協力のお陰で15種類のひこいちDONがマップと共に完成しました。今後はその認知度をもっと高めて広く皆様に訴求していく事になるはずですが、しかし、八代経済開発同友会の協力としてはここまでで、今後の展開は各店舗にお任せするという事になりました。

振り返って考えますと、果たしてこの一年間で、八代経済開発同友会らしい協力が出来たのか自信がありません。例えば、このプロジェクトが最終的に多くの方々に認知してもらうまでの仕組み作りに知恵をもっと出せたのではと考えます。しかし結果的には、商品の開発だけで終わってしまいました。八代経済開発同友会が地域活性化の事業をする上で、これからの関わり方を考えさせられる事業でした。

そして、記念講演会の担当部会としての理念部会の活動です。50周年理念講演会の位置づけは、本年度一年間やっている理念の確立の最終確認です。それぞれの企業において、理念の必要性には様々な考え方の違いがあり、企業理念の必要性は理解しているものの、作成、運用にも様々な方向性がある。その中で、講演会のテーマである「理念」の切り口を絞り込む事にほと

全国結納品組合連合会加盟店

お茶の 濱大松園

フリーダイヤル(小売店) 0120-40-3311

臨 港 店 電話 (0965)33-5163

本 町 店 電話 (0965)33-0022

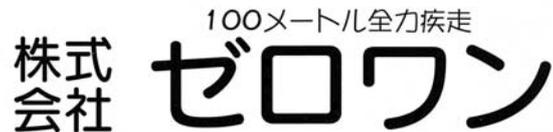
イオン八代SC店 電話 (0965)39-3553



JX日鉱日石エネルギー一機特約店



車買取・販売専門店



代表取締役 松岡 隆志

〒866-0072 八代市高下西町1827
TEL 0965-31-1101 FAX 0965-33-2182
携帯 0903-6666-333
URL <http://www.18.ocn.ne.jp/~zero1/>
E-mail zero1@magma.jp

ほどの時間を費やしました。

そこで、部会では人材育成、社員の生き甲斐と言う点において、その理念の実践をしておられる株式会社ふくやの新町敦志様を招いて記念講演会の前に例会において講演をする事としました。このプレ講演会で学んだ物は大きかったように思います。

10月の例会での講演会を受け、さらに部会では理念講演会のテーマの掘下げを行いました。最終的には、我々の理念にもある「幸福感のある企業」とは何か？それは、従業員、またその家族、取引業者も含めた方々が生き活きとやりがいを感じる企業であろうと結論に至り、両講師にお願いする事になりました。その頃から記念講演会の役割が、会員の勉強会としての位置づけだけにとどまらず、より外部への発信、八代経済開発同友会のアピールを。ということにもなりました。

平成26年2月22日土曜日にホワイトパレスにて、株式会社加賀屋の小田與之彦副社長と万協製薬株式会社の松浦信男社長を招いての講演会を開催致しました。会員、会員企業をはじめ、各方面より約250名の参加者がありました。講演会後は会員と講師による懇親会も和やかに行われました。

本年度のはじめに活力ある地域づくり委員会としては、地域活性化事業を、まず理念に照らして、会員がその事業の意義を共通認識として持つことができるか。また、会が行う事業として、会員が積極的に参加したいと思うかどうか。その意義を説明できるかどうか。という事から検討していきたいと考えていました。これについては、皆様のご指導のもと一年を通して全力でやり遂げたと思います。しかし、もう一つ、事業を行うにあたり、その事業をやり遂げた後のビジョンを明確にしてゴールまでの仕掛けづくりを考えるという点においては、最終の到達点をそのプロセスでイメージ出来ておらず、全体の設計図を早い時点で描けませんでした。本来なら、リーダーである自分の役割としての一番重要な部分で、代表幹事はじめ実行委員長、各実行委員、部会の方々に頼ってしまったと反省しております。色々反省の多い一年ではありま

したが、それが成長の証であると考え、51年目の第一歩をみなさんと一緒に歩みはじめています。

理念と共に踏み出した一歩

幸福感のある企業づくり委員会委員長 塚本 真一郎

幸福感のある企業とはどういうものか、という事を考えた時に、「存続する価値のある企業で、社員が充実感を持って働ける事」という答えにたどり着きました。そのために何が必要かという問いに、神園代表から、それは「理念」である、という答えをいただき、当委員会では、全会員企業の理念策定に向けて動き出しました。

既に理念を持った会員企業が6割、明文化していない会員企業が4割というアンケート結果で、前者は、再度見直し及び検討を、後者は、策定をするという方向性で定まりました。

私の経営する会社も理念の明文化をしておらず、多くの時間を費やし、策定しました。結果、企業としての方向性が定まり、何(誰)のために、何をすべきかという事を自分の中で、常に考えることができるようになったと思います。経営者としてブレが少なくなった感覚もあります。

多くの方々の協力をいただき、全会員企業が、「理念」を持つこととなり、それと共に新たな一歩を踏み出すこととなりました。お客様の「ありがとう」と社員の「この会社で働けてよかった」という声は増えていくのでないでしょうか。

最後に神園代表はじめ、幸福感のある企業づくり委員会の活動に協力いただいた方々に心より御礼申し上げます。

神園交通グループ

「すーぱーばんぺゆ」1日11往復で好評運行中!!

タクシー・貸切バス・ご旅行のお問合わせはお気軽に

(有)神園交通

〒866-0856 八代市通町10-57

TEL 0965-32-2121

神園交通グループ

検索 

一年間を振り返って

共に集い委員会委員長 飛石幸弥

25年度は親睦系の委員会を任せて頂いたのですが、気の利いたアイデアがなかなか思いつかなくて、委員会メンバーの皆さんに気持ちを伝える事が出来ずに一年が過ぎてしまい、反省しています。振り返ると、ほぼ50周年事業一色な一年でしたが、達成感はありました。神園代表の想いと初めて掲げた理念に基づき一年間の活動計画を作り、まずは会員同士が交流を深めて頂きたいと、夏ぐらまでは委員会別の席割で懇親会を運営させて頂きました。また当初は、親睦が進んだ段階で交流事業や趣味の同好会活動を立ち上げたいと思いついていましたが、途中より50周年の祝賀会担当部会が重なり、計画通り進める事が出来ませんでした。

しかしながら、今年は同友会にとって一大事業である「創立50周年」の記念式典と祝賀会の開催の年。委員会＝部会の皆さんと毎回頭を抱えて企画を練り、実行委員会で依頼されたものをまた部会で練り直す…何とか形になるまで相当時間がかかりました。

私の中で、苦労したのが3つ。1つは「料理」。忘年会でメンバーの皆さんに試食を兼ねてプレゼンした訳ですが、こんなにヘコんだのは何年振りだろうってぐらいヘコみました(笑)それで、おもてなしへの想いを実現するには直接話した方が早いと松岡専務理事より提案を頂き、ホテルの料理長と話す機会を設けました。皆さ

んからの意見を基に、八代の食材にこだわり、おもてなしの要素を組み入れたメニューの組み直しを行い、再度幹事会の皆さんに試食してもらい当日に臨みました。

2つ目は会場側、仕事としての立場。会場設営については当日に確認し、すぐ直せたりは出来たのですが、式典の照明と音のタイミングが前日のリハーサルでなかなか息が合わない。直前リハでも心配な部分がたくさん残り、開会時間直前まで私とスタッフと進行表を見ながら確認し合い、本番はノーミスで終える事が出来ました。ほぼ総出で臨んだ式典と祝賀会でしたが、ホテルスタッフのいい勉強の場となり、皆さんからの労いの言葉も頂き、大変喜んでいました。感謝しております。そして、3つ目は祝賀会の内容。ありきたりではなく、同友会のこれまでとこれからを繋げていくものを具現化するのに、なかなかアイデアが出てこない。色んな方々に助けて頂き、何とか頭の中で進行が想像できるぐらいにまとめる事が出来たのが年が明けてぐらゐのギリギリの所でした。特に冒頭に流したムービーは、構成のアイデアは頂いたものの制作に時間がかかり大変苦労しました。無事流す事が出来て良かったです。

この一年間で、色んな事を学びました。今まで気づかなかった事、気づいててもやらなかった事、仕事の取り組み方や従業員皆で考えて行動する団結力。たくさん自分に足りなかった所を気づかせて頂いた神園代表を始め幹事の皆さんに、私を支えて頂いた委員会メンバーの皆さんに感謝致します。そして、50周年の事業がな

通信販売<カウネット>

オフィス家具・事務用品・紙・文具・教材・教具・OA機器

有限会社 小林商店

本社/〒866-0884 熊本県八代市松崎町786-6

TEL 0965(35)4185 FAX 0965(33)4187

営業所/熊本高専八代キャンパス売店 TEL 0965(53)1233 (内線2236)

県立水俣高校売店 TEL 0966(62)4967

E-mail bunguk@m09.alpha-net.ne.jp



それぞれの生活スタイルを応援します

ユーミーマンション

株式会社 小笹建設
〒866-0061 熊本県八代市渡町1303
ユーミーマンション事業部
TEL (0965)32-2849

株式会社 ランドウィル
〒866-0061 熊本県八代市渡町1289-1
TEL (0965)32-2849
FAX (0965)32-8485



空室検索サイトOPEN! <http://www.ym-rent.com>

かったら自分の進歩がなかったと思います。竹永実行委員長を始め、実行委員会の皆さんに感謝致します。一年間ご支援頂き、ありがとうございました。

一年間を振り返って

共に学び委員会委員長 三枝崎 能久

先ず一年間、大変ご迷惑をお掛けしました所も多々ございますが、沢山のご指導また、大勢の方々にお力添えをいただき心よりお礼を申し上げます。

さて、本年度策定された「理念」の浸透を第一の目的として取り組みだした共に学び委員会では5月例会に於いて、常に「理念」を基に会社経営に取り組み「八代で一番大切にしたい会社大賞」に選ばれた企業4社の代表者にパネラーとしてご参加いただき、共に学ぶ事からスタート致しました。

また、6月例会では「我々の会社にとっての理念とは」のテーマにて、幸福感ある企業づくり委員会主導で、熊本銀行様よりお借りしました理念に関するビデオを拝見後、各グループに分かれて「理念」についての討議を致しました。このように、皆様方のお力をお借りしながら「理念」について考える例会を行なえた事で企業理念の重要性を発信し、そして特に若手メンバーには学ぶ事ができる内容になったのではないかと思います。

7月から50周年関係の例会を企画し、竹永実行委員長より50周年概要発表、8月は50周年アワー例会と、50周年記念式典・祝賀会・記念講演会に関する内容を皆様方と共に考えていただけた事が、翌年の一大イベントに繋がったのだと思います。

いよいよ「90人の侍」の締切りを翌月に控えた9月例会は、原稿を作成するにあたり講師に松本氏をお迎えし「ここがポイント!!企業理念作成の重要点」について講演いただき、10月例会は、活力ある地域づくり委員会の企画にて(株)ふくやの新町氏をお迎えし、「理念の共有」と題し講演いただき、再度「理念」について学ばせていただく例会でありました。

この数ヶ月間のお力添えがあったからこそ創立50周年記念式典を無事に終える事ができましたし、私自身も多くの事を学ばせていただき少しだけ成長できたのでは?と感じております。皆様方、一年間大変お世話になりました。ありがとうございました。そして今後ともご指導の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

一年間を振り返って

同友会活性化委員会委員長 濱 孝治

まず、本年1年間様々な活動でご協力していただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

また、多方面においてご迷惑ご心配お掛けしました事を深くお詫びいたします。

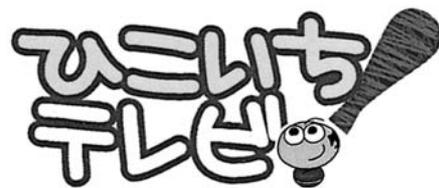
この1年を振り返りましてもいったい同友会

車検・修理・販売・钣金・架装・保険
いろんな車のいろんなことを…

(有)八代中央整備工場

ETC
2 輪
4 輪

八代市高下西町1385-1
TEL 0965-34-7590



テレビやつしろ 株式会社

〒866-0883 熊本県八代市夕葉町3番町7
Tel 0965-30-7171

メディア株式会社



専務取締役 吉武卓哉

〒866-0863 熊本県八代市西松江城町11-27
TEL 0965-33-4837
FAX 0965-33-0129
E-mail:media-ty@media-kk.co.jp

のために何が出来たであろうか？同友会を「活性」する為、「活発」にする為にこの1年の命を受けたはずですが自分自身、何も出来なかった、何もしなかった1年に思えてなりません。

年初に掲げた目標が、「会員の出入りを活発にする、『入』は入会者を増やし活発に、『出』は例会等に1人でも多くのメンバーに出席してもらい活発にする。」と目標を掲げていたのですが、実際に新入会員として入会していただけたのは10名にも満たないありさま、例会への出席率が上がったかという実績もありません。本当に神園代表幹事の期待に応えることの出来ない活動しか出来ていません。

そんな中でも、50周年記念事業に微力ながらも携わることが出来たことは、非常に良い経験になりました。私は年表製作の担当でしたが、今まで全くと言っていいほど同友会の歴史について知る機会が無かったのですが、同友会の成り立ちから、歴代表幹事のお顔や時代背景と事業内容を含めた歴史を感じることが出来ました。そこには50年脈々と受け継がれてきた歴史があり、八代を良くいしたいと言う思いが感じられました。

この1年が自分にとって様々な気付きや成長になった事は間違いありません、これも神園代表幹事や竹永50周年実行委員長の下で活動が出来たおかげです。

一年間を振り返って

情報発信委員会委員長 横林宏志

今年は八代経済開発同友会創立50周年の年に当たり、くしくも私も50歳を迎える年でもありました。その様な年に「鵬際」の担当をさせていただきました。学生のころより文章を書くのは苦手でありましたが、数十年ぶりに文章を並べる工程はとても新鮮な経験でした。しかしながら、作業ははかどらず初回号は記事・写真集め、広告主の方への挨拶などなど慣れないことの連続でバタバタしておりました。その様な中でも、表面からも裏面からも読んでいただこう

と前年までのレイアウトを変更し、最終ページに八代のスポーツ関係の記事を特集するページ「ハウスポ」を企画してみました。なかなか読者の方（会員）からの批評や感想などが得られず少し寂しい思いもありました。まだ、最終号が残されておりますが、すでに締切がせまっております。最後まで一人でも多くの方に読んでいただきたく努力してまいります。

また、2学期からは50周年実行委員会の部会長も仰せつかることになり、式典開始前のオープニング映像の製作も担当することになりました。当然今までこのような経験はありませんので、何から手を付けてよいのやら見当もつかない状況でした。暗中模索のなか、副委員長の和久田さんや、神園代表からアドバイスをいただきながら、ギリギリの日程で（実際は過ぎていましたが）完成させることができました。この頃は「鵬際」2号の製作と同時進行になり、年末の忘年会と闘いながらの作業となりました。初回号に続き、なかなか紙面が埋まらず、印刷所の方と3回、4回と原稿をやり取りしながらやっとの思いで発行することができました。

最後に、私の会社は創業から40年を過ぎますが、「理念」とか「社是」といったものはありませんでした。先代、父のやり方で営業して参りました。その父も8年前に他界し、漫然と日々をこなす毎日でした。今年、自分の会社の「理念」を制定することができ、会社という組織の中に「芯柱」ができたと考えます。ひとりの会員としても得難い経験をさせてもらいました。幹事会、50周年実行委員会、情報発信委員会のみなさん一年間お疲れ様でした。おかげさまでいろんな方の話を聞き、考えさせられ、実行できたすばらしい50周年と50歳になった年でした。また来年から新たなスタートを切ってゆきたいと思えます。ありがとうございました。

**選ばれた一着、
確かなブランド**

**スプリングバーゲン
開催中!**



豊かなファッションライフを創造する

男を創る 紳士服の

A マルカ

本店	八代市本町2丁目3-18(アーケード街・中央) ☎0965(32)3668(代) 営業時間AM9:00~PM8:00
松橋店	宇城市松橋町松橋824-1(松橋ショッピングセンターフレンドさん前) ☎0964(33)4129 営業時間AM9:30~PM8:30
GROVE	カジュアルコーナー〈グローブ〉(八代本店内) ☎0965(32)3668 営業時間AM10:00~PM8:00



ウエスタンリーグ八代

福岡ソフトバンクホークスVS広島東洋カープ

ゴールデンウィークもまったただ中、五月五日(明)、県営八代球場にて開催されます。サイン会(抽選で百名)や親子キャッチボール(十時から受付・保護者とお子様ペア二十四組)、八代のうまかモンファエスタなど同時開催されます。十時開場、十二時三十分開始(雨天中止)バックネット裏千五百円・内野自由席千円(当日千二百円)外野無料

お問い合わせ先：八代プロ野球公式戦実行委員会

電話〇九六五―三三四―〇九九〇

九州国際スリーデーマーチ

今年も開催されます！第二十回記念

「きなっせ！やつしろ 笑顔で元気ウォーク」

五月九・十・十一日(金・土・日)球磨川河川敷にて開催されます。いろんなイベント、食ブースなどたくさん準備されています。中でも、やつしろ出身「八代亜紀トーク&ミニライブ」(五月九日十四時三十分―十五時・入場無料)「陣内貴美子トークショー」もあります。きさくな八代亜紀さんやニュースでおなじみの陣内貴美子さんを身近に感じられること間違いなしです。

お問い合わせ先：九州国際スリーデーマーチ実行委員会事務局 電話〇九六五―三三三―四二二三

第八回 Yatsushiro Cup高校選抜バドミントン大会

二月八・九日で「第八回Yatsushiro Cup高校選抜バドミントン大会」を開催しました。八回目になると段取り慣れして、スムーズな準備ができ、また大会開催も無事怪我やトラブルも無く終了することができました。

男子優勝は八代東高校・女子の優勝は諫早商業高校でした。この大会は、普通の大会運営と少し変わっていて参加条件があります。まず、八代・日奈久に必ず二泊する事。次に酒が飲めなくても監督懇親会に必ず参加する事。参加費は無料ですが試合用のシャトルを五ダース持参する事。また、参加高校は八代東・白百合の監督が県外の高校に声をかけて選んでいます。参加高校は、全国でもトップレベルの高校ですので試合の質が高いのです。

監督懇親会では、「この大会を十回で終わらせるのは、非常にもったいない。」との声が聞かれるようになりました。嬉しい声です。やはり、八代東高校の権藤監督の存在感は大きく、八代をバドミントン大国していくには欠かせない人物です。しかし、転勤の可能性もあります。私たちがやるべきことは、この転勤を防ぐこともあるでしょう。

私、松岡隆志も十回大会までは頑張ります。続けるかどうかは、八代経済開発同友会の理念に照らし合わせながら考えて生きたいと思えます。

最後になりましたが、ご協賛いただいた会員の皆様に厚く御礼申し上げます。



- 〇介護用ベッド・車いすなどのレンタル
- 〇ポータブルトイレなどの福祉用品の販売
- 〇手すり・段差解消・住宅改修工事など



熊本県指定福祉用具貸与事業所
ヨリスミ
吉住酸素工業株式会社

お気軽にご相談下さい。
福祉用具専門相談員が
お応え致します。

八代市弥生町15-10
TEL0965-33-1105
FAX0965-33-3545